



令和5年3月17日

南陽市議会議長 船山利美殿

無会派 佐藤 日(一)

令和4年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

項目	調査・研修内容
調査期日	令和5年1月15日(日)から18日(水)まで 3泊4日
調査場所	① 島根県雲南市議会 ② 島根県大田市議会
調査目的	① 地域自主組織による小規模多機能自治の取組について ② 「住みたい田舎日本一！」に輝いた大田市の現在の移住・定住推進の取り組みについて
調査概要	① 別紙 ② 特に印象に残った南雲市の調査・研修の(地域自主組織による小規模多機能自治の取組について)だけでなくそのほかの事について所見を述べたい。
その他	

雲南市の人口は、令和2年国勢調査に於ける36,000人で、平成27年国勢調査と比較すると3,025人(2.8%)減小し、うち65才以上の老年人口が女性人口割合は40.1%と、年々高齢化がすすんでいる。年令別人口構成は、年少割合が違ひ、令和2年には高齢比率が年少人口割合を上回り、令和2年には年少人口割合は11.2%となっている。

市の^地名には神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が發掘され、平成8年10月には1ヶ所の出土としては全国最多となる39個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマトノオノ地伝説でも知られ、古くから支流周辺の終地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきた。

(農林業)

有機農業への先駆的な取り組みから安全・安心な米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、平成10年から続く島根

2、

県農業協同組合と連携した農産物の産直のほか、乳製品やウインゴなどの多彩な加工品も作られています。林業では、森林資源の調査を行い効率的な施業を進め、2ヶ所の木材流通拠点施設を核とした販路の拡大と商品開発の推進や公共建築物、木質チップボイラーで市産材を利用することで森林整備をしています。
(工業)

加茂町、木次町等に企業用地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地されています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積が進んでおり、令和元年工業統計調査の製造品出荷額は県内第4位となっています。産業分類別で見ると、食料品、衣料、木材、一般機械などの事業者(新)が立地しています。

(商業)

消費の市外流出に於いて、地域商業の減退が進んでいることから、中心市街地活性化事業に取り組み、新たな商業進積施設「トリ工

3.

ット」がオープンし、今後はビジネスホテル整備が予定されています。また、空き店舗活用に向けて取り組みを支援しています。今後は地域内で利用できる電子地域通貨の取り組みを定め、地域商業の新たな活気づくりに取り組んでいく。

(観光)

日本さくら名所100選の「斐伊川堤防桜並木をはじめるカ月染しめさくら、日本の滝100選に選定された龍頭が滝、八重滝、相田百選の「山王寺の相田」など、季節ごとに違う表情を見せて豊かな自然が体験できる観光資源が豊富にあります。また、国の重要有形民俗文化財に指定され、日本で唯一現存する「荒谷たたら高殿」や近代たたら操業が体験できる施設などでは、鉄づくりの歴史と文化を感じることができ。その他にも、出雲国凡士記に記されている古くからの温泉、自然を満喫できるキャンプ場、平和学習の拠点である永井隆記念館などの施設等がある。

以上